

平成 30 年 度

# 事 業 報 告

日本赤十字社滋賀県支部

## 日本赤十字社の使命

わたしたちは、  
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、  
いかなる状況下でも、  
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

## わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

## わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、  
人道の実現のために、  
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、  
人の痛みや苦しみに目を向け、  
常に想像力をもって行動します。

# 目 次

はじめに	1
I 支部事業・一般会計決算概要	2
1 評議員会並びに監査等の実施	2
(1) 評議員会の開催	2
(2) 監査の実施	2
(3) 日本赤十字社理事会・代議員会等への出席	3
(4) 支部名誉職員名簿	4
2 全国赤十字大会への参加	5
3 会議及び職員研修会の開催	5
(1) 会議の開催	5
(2) 職員研修会の開催	7
4 会員増強運動の推進と実績	7
(1) 会員増強運動の推進	7
(2) 平成30年度活動資金募集実績	7
(3) タウンプラス（配達地域指定郵便）を活用した活動資金募集	9
(4) 法人活動資金募集の実績	9
(5) 企業・団体等とのパートナーシップ構築の推進	10
(6) 支部会員情報管理システムによる適正な情報管理	10
(7) 赤十字会員	10
(8) 有功章等受章者数	11
5 災害救護活動	11
(1) 災害救護活動等の実施	11
(2) 災害救援物資及び弔慰金の配分状況	12
(3) 義援金、海外救援金の受付状況	13
(4) 支部災害救護倉庫の施設見学	14
(5) 救護資機材の整備	14
(6) 訓練及び研修	14
(7) 救護員の登録状況	16
(8) 救護資材整備状況及び救援物資備蓄状況	16
6 臨時救護	17
7 赤十字救急法・健康生活支援講習等の講習普及	17
(1) 救急法	17
(2) 健康生活支援講習	18
(3) 幼児安全法	18
(4) 水上安全法	18
(5) 講習指導員の研修	18
(6) 健康生活支援講習及び幼児安全法指導員数	19
(7) 赤十字講習普及推進サポーター事業	19
(8) 防災教育の普及	19
(9) 滋賀県安全法指導員協議会	20

8	赤十字奉仕団	20
	(1) 設団状況	20
	(2) 地域赤十字奉仕団の活動	21
	(3) 青年赤十字奉仕団の活動	25
	(4) 滋賀県無線赤十字奉仕団の活動	25
	(5) 滋賀県青少年赤十字賛助奉仕団の活動	26
	(6) 滋賀県防災支援赤十字奉仕団の活動	28
	(7) 個人ボランティア	29
	(8) 赤十字奉仕団以外のボランティアグループの受入状況	29
9	青少年赤十字	30
	(1) 加盟校の状況	30
	(2) 青少年赤十字指導者協議会郡市支部長会の開催	30
	(3) 本社及びブロック主催の講習会、研修会開催状況	31
	(4) 支部主催のトレーニングセンター開催状況	31
	(5) その他の会議・行事等	32
	(6) 青少年赤十字メンバー・加盟校応援プロジェクト事業	34
	(7) 青少年赤十字機関紙「JRCしが」の発行	34
	(8) 青少年赤十字加盟案内パンフレット「気づきからはじまる青少年赤十字活動」の発行	34
10	看護師の教育	34
11	国際活動	35
	(1) 「NHK 海外たすけあい」キャンペーンの実施	35
	(2) 近畿ブロック国際人道法普及セミナーへの参加	35
12	赤十字思想の普及	35
	(1) 本社作成の広報資材の配布	35
	(2) 支部作成の広報資材の配布	36
	(3) 世界赤十字デー周知キャンペーン	36
	(4) 主な広報活動	36
	(5) 平成30年度防災・減災プロジェクト～私たちは、忘れない。～の実施	37
13	有功会	37
	(1) 会員の数（個人・法人）	37
	(2) 事業内容	38



## はじめに

日本赤十字社滋賀県支部は明治28年の創設から今日まで、赤十字の人道博愛の精神のもと、戦時には多くの医師や看護師が身を挺して傷病者の看護にあたり、自然災害では負傷者の救護やこころのケアのほか、疾病の予防、治療、公衆衛生の向上に取り組むなど、一貫して苦しむ人に寄り添う活動を続けてまいりました。

平成30年度は例年にも増して自然災害が多い年でしたが、日本赤十字社滋賀県支部は、皆様の温かいご支援、ご協力によって、西日本豪雨災害をはじめとした多くの災害や県内で発生した米原市竜巻災害などで被災にあわれた方々に支援を届けることができました。

こうした災害救護活動のほか看護師の教育、救急法・健康生活支援講習等の講習、赤十字奉仕団・青少年赤十字の育成、国際活動や医療施設の経営、血液事業など、本年度の日本赤十字社滋賀県支部の各活動につきましても、県民の皆様並びに関係者の皆様のご理解とご協力のもとに着実に推進することができました。

厳しい経済状況の中、赤十字活動を財政面で支えていただいている赤十字会員の皆様、活動推進の直接の担い手である赤十字奉仕団等ボランティアの皆様、赤十字活動を総合的に支えていただいている地区・分区等関係機関の皆様、並びに多くの県民の皆様の日頃からの力強いご支援に、改めて心から感謝申し上げます。

「人間のいのちと健康、尊厳を守る」のは日本赤十字社の使命であり、これからも災害時に迅速な救護活動を展開することはもちろんのこと、平時においても「災害から命を守る」取り組みに最大の努力を重ねてまいります。

ここに、平成30年度の日本赤十字社滋賀県支部事業を報告いたしますとともに、引き続き皆様方からの温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年5月

日本赤十字社滋賀県支部

# I 支部事業・一般会計決算概要

## 1 評議員会並びに監査等の実施

### (1) 評議員会の開催

開催日	開催場所	議案
平成30年 6月19日(火)	滋賀ビル9階会議室	第1号議案 平成29年度事業報告並びに歳入歳出決算について 第2号議案 役員を選出について
平成31年 2月12日(火)	滋賀ビル9階会議室	第1号議案 平成31年度事業計画について 第2号議案 平成31年度歳入歳出予算について 第3号議案 役員を選出について

### (2) 監査の実施

#### ア 予備監査の実施

平成29年度の会計経理及び業務執行状況について公認会計士による予備監査を実施した。

施設名	実施日	実施場所
日本赤十字社滋賀県支部	平成30年4月27日(金)	支部会議室
大津赤十字病院	平成30年5月14日(月)	同病院会議室
大津赤十字志賀病院	平成30年5月9日(水)	同病院会議室
長浜赤十字病院	平成30年5月11日(金)	同病院会議室

#### イ 監査委員による監査の実施

平成29年度の会計経理及び業務執行状況について監査委員による監査を実施した。

施設名	実施日	実施場所
大津赤十字病院 長浜赤十字病院	平成30年5月24日(木)	同病院会議室
日本赤十字社滋賀県支部 大津赤十字志賀病院 滋賀県赤十字血液センター	平成30年5月31日(木)	支部会議室 同病院会議室 血液センター会議室

(ただし滋賀県赤十字血液センターは、業務監査のみ実施した。)

(3) 日本赤十字社理事会・代議員会等への出席

名 称	開催日	会 場	出席者	内 容
日本赤十字社 理事会	6月22日	東京都・ 新霞が関ビル	北村理事、 中村理事	I 社長挨拶 II 付議事項 1 第92回代議員会に付議する事 項について ①役員の選出 ②平成29年度事業報告及び収支 決算の承認 III 報告事項 平成30年度赤十字運 動月間における広報の取り組み 状況について ほか
日本赤十字社 第92回代議員 会	6月22日	東京都・ 新霞が関ビル	北村代議員、 中村代議員	I 社長挨拶 II 付議事項 1 役員の選出について 2 平成29年度事業報告及び収支 決算の承認について III 報告事項 平成30年度赤十字運 動月間における広報の取り組み 状況について ほか
日本赤十字社 理事会	11月27日	東京都・ 日本赤十字社 本社	北村理事、 中村理事	I 付議事項 1 規則の制定について ① 日本赤十字社監事事務室及 び監査委員事務室規則 2 資金の借入について ① 葛飾赤十字産院 II 報告事項 平成30年度上半期事 業報告 ほか
日本赤十字社 理事会	3月20日	東京都・ 新霞が関ビル	北村理事、 中村理事	I 社長挨拶 II 付議事項 1 規則の改正について ① 外部監査の導入等にかかる 関係規則 2 資金の借入について ① 山口赤十字病院 3 第93回代議員会に付議する事 項について ①役員の選出 ②平成31年度事業計画 ③平成31年度収支予算 III 報告事項 映像「パレスチナ・シ リア難民への支援～レバノン地域 代表部からの報告～」上映 ほか
日本赤十字社 第93回代議員 会	3月20日	東京都・ 新霞が関ビル	北村代議員、 中村代議員	I 社長挨拶 II 付議事項 1 役員の選出について 2 平成31年度事業計画について 3 平成31年度収支予算について III 報告事項 日本赤十字社の中東 地域支援について～パレスチナ 赤新月社医療支援事業～

(4) 支部名誉職員名簿

役 職	氏 名	備 考
支 部 長	三日月 大 造	滋賀県知事
副 支 部 長	西 嶋 栄 治	滋賀県副知事
〃	山 仲 善 彰	滋賀県市長会長・野洲市長
〃	伊 藤 定 勉	滋賀県町村会長・豊郷町長
本 社 理 事	北 村 又 郎	元滋賀県町村会長
〃	中 村 美尾枝	赤十字奉仕団滋賀県支部委員会顧問
本 社 代 議 員	北 村 又 郎	元滋賀県町村会長
〃	中 村 美尾枝	赤十字奉仕団滋賀県支部委員会顧問
支部監査委員	山 田 実	前滋賀県監査委員
〃	漣 藤 寿	長浜市公平委員
評 議 員	栗 田 克 俊	大 津 市 地 区 選 出
〃	竹 内 俊 彦	〃
〃	堀 井 和 美	〃
〃	大久保 貴	彦 根 市 地 区 選 出
〃	圓 城 治 男	〃
〃	藤 井 勇 治	長 浜 市 地 区 選 出
〃	大 橋 香代子	〃
〃	小 西 理	近江八幡市地区 選出
〃	寫 本 深 照	〃
〃	橋 川 涉	草 津 市 地 区 選 出
〃	清 水 和 廣	〃
〃	本 城 眞佐一	守 山 市 地 区 選 出
〃	岸 年 江	〃
〃	野 村 昌 弘	栗 東 市 地 区 選 出
〃	芝 原 道 子	〃
〃	岩 永 裕 貴	甲 賀 市 地 区 選 出
〃	嘉 郷 重 郷	〃
〃	山 仲 善 彰	野 洲 市 地 区 選 出
〃	谷 畑 英 吾	湖 南 市 地 区 選 出
〃	福 井 正 明	高 島 市 地 区 選 出
〃	小 椋 正 清	東 近 江 市 地 区 選 出
〃	宮 部 庄 七	〃
〃	平 尾 道 雄	米 原 市 地 区 選 出
〃	藤 澤 直 広	東 近 江 地 区 選 出
〃	有 村 国 知	湖 東 地 区 選 出
〃	久 保 久 良	〃
〃	川 崎 辰 己	支部長 選出 滋賀県健康医療福祉部長
〃	田 附 弘 子	支部長 選出 赤十字奉仕団滋賀県支部委員会委員長
〃	増 田 茂 輝	支部長 選出 滋賀県青少年赤十字指導者協議会長
〃	大 道 良 夫	支部長 選出 日本赤十字社滋賀県支部有功会長

(平成31年3月31日現在)

## 2 全国赤十字大会への参加

名誉総裁皇后陛下、名誉副総裁各宮妃殿下のご臨席を賜り、平成30年5月16日（水）に、東京都渋谷区の明治神宮会館において、来賓、赤十字社員の代表など、約2,000人の出席のもと全国赤十字大会が開催された。

第一部式典は、国家斉唱、社長あいさつに続き、名誉総裁から赤十字事業の推進に尽力された会員の代表13人に有功章の授与が行われた。

滋賀県支部からは、本社理事1人、有功会役員2人、有功章社員3人、奉仕団関係者3人、地区会員代表4人、施設職員2人、支部職員3人の計18人が出席した。

## 3 会議及び職員研修会の開催

### (1) 会議の開催

名 称	開 催 日	会 場	対象及び出席者数	内 容
赤十字事務担当主任者会議	平成30年 4月16日(月)	日本赤十字社 滋賀県支部 会議室	担当者20人 事務局5人	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成30年度事業計画および歳入歳出予算の概要</li> <li>2 会員の募集と広報活動</li> <li>3 赤十字奉仕団</li> <li>4 青少年赤十字</li> <li>5 災害救護</li> <li>6 赤十字の講習</li> <li>7 赤十字の概要と地区分区の業務</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>• DVD鑑賞「赤十字この一年2017年度」～この一年をふりかえる～</li> </ul>
赤十字施設業務連絡会議	平成30年 7月11日(水)	日本赤十字社 滋賀県支部 会議室	支部事務局長、施設事務部長（血液センターは事業部長）、及び支部・各施設の人事総務担当課長等 計12人	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 会計及び業務の監査</li> <li>2 職員研修               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 滋賀県支部主催研修</li> <li>② 第4ブロック主催研修</li> <li>③ 本社主催研修</li> </ol> </li> <li>3 職員の社員加入</li> <li>4 寄付金付自動販売機の設置</li> <li>5 大阪府北部地震及び米原市竜巻災害にかかる対応</li> <li>6 各種救護訓練の実施</li> <li>7 平成30年度赤十字講習普及計画</li> <li>8 その他               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 平成30年7月豪雨災害にかかる岡山県への救護班の派遣</li> <li>② 各施設における災害時での出勤状況</li> <li>③ 支部・施設間の人事交流の推進</li> </ol> </li> </ol>

赤十字施設業務連絡会議	平成30年 12月4日(火)	日本赤十字社 滋賀県支部 会議室	支部事務局長、 施設事務部長 (血液センター は事業部長)、 及び支部・各施 設の人事総務 担当課長等 計11人	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 監査について <ol style="list-style-type: none"> <li>① 平成31年度滋賀県支部・赤十字施設の監査の実施</li> <li>② 外部監査導入</li> </ol> </li> <li>2 職員研修について <ol style="list-style-type: none"> <li>① 滋賀県支部主催研修</li> <li>② 第4ブロック主催研修</li> </ol> </li> <li>3 平成31年度日本赤十字社第4ブロック合同災害救護訓練の実施について</li> <li>4 指定事業社資を活用した救護資機材整備計画について</li> <li>5 その他 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 全国赤十字大会への施設長等の参加</li> <li>② 日本赤十字社原子力災害対応基礎研修会の開催</li> <li>③ 平成30年7月豪雨災害にかかる経費精算</li> <li>④ 平成30年度「NHK海外たすけあい」の実施</li> <li>⑤ 第4ブロック健康生活支援講習指導員研修会の開催</li> </ol> </li> <li>6 今後の予定 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 支部長への新年あいさつ</li> <li>② 平成30年度第2回評議員会</li> </ol> </li> <li>7 支部施設人事交流推進委員会</li> </ol>
赤十字事務担当課長等会議	平成30年 12月21日(金)	日本赤十字社 滋賀県支部 会議室	担当課長19人 事務局5人	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成30年度の主な取り組みについて</li> <li>2 平成30年度活動資金募集進展状況について</li> <li>3 平成31年度主要事業計画について</li> <li>4 地区分区における経理処理の適正な管理について</li> <li>5 日本赤十字社有功章等の表彰について</li> <li>6 評議員の任期満了に伴う諸手続きについて</li> <li>7 その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度赤十字奉仕団主要事業計画(案)</li> </ul> </li> </ol>

(2) 職員研修会の開催

名 称	開 催 日	会 場	対象及び出席者数	研 修 内 容
平成30年度 支部・施設10年 目中堅職員研修 会（第1回）	平成30年 11月1日(木)	Riseville 都賀山	支部・施設の勤続10年を迎える職員31人 講 師 1人 事務局 4人	1 第一線で働く中堅職員に求められる立場と役割を再確認する。 2 役割を果たすために必要なコミュニケーション能力を身につける。
平成30年度 支部・施設10年 目中堅職員研修 会（第2回）	平成31年 1月15日(火)		支部・施設の勤続10年を迎える職員29人 講 師 1人 事務局 3人	3 マンネリを打破し、組織へ積極的に働きかけをしていく意識を向上させる。

4 会員増強運動の推進と実績

(1) 会員増強運動の推進

5月を「赤十字会員増強運動月間」として、ひとりでも多くの方々に赤十字の思想・活動を理解していただくとともに、赤十字会員への加入、高額活動資金や法人活動資金の拡充強化に努めた。

本年度会員増強運動に使用した資料は次のとおりである。

ア 赤十字会員増強運動実施要綱	230部
イ 小冊子	7,600部
ウ ポスター	2,870部
エ チラシ	525,000部
オ 赤十字会員募集のてびき	5,000部
カ 広報用DVD	25部
キ 活動資金領収書	145,200部
ク 法人に対する活動資金協力依頼状	16,800部
ケ 個人情報取扱に関する啓発パンフレット	3,300部
コ 「会員」説明チラシ	74,000部

(2) 平成30年度活動資金募集実績

各市町の標準世帯数の40%以上を「500円会員」、28%以上を「1,000円会員」として募集することを目標とし、県民の支援と協力を依頼したところ県民各位や法人各社と地区分区の協力により、別表のような実績を上げた。



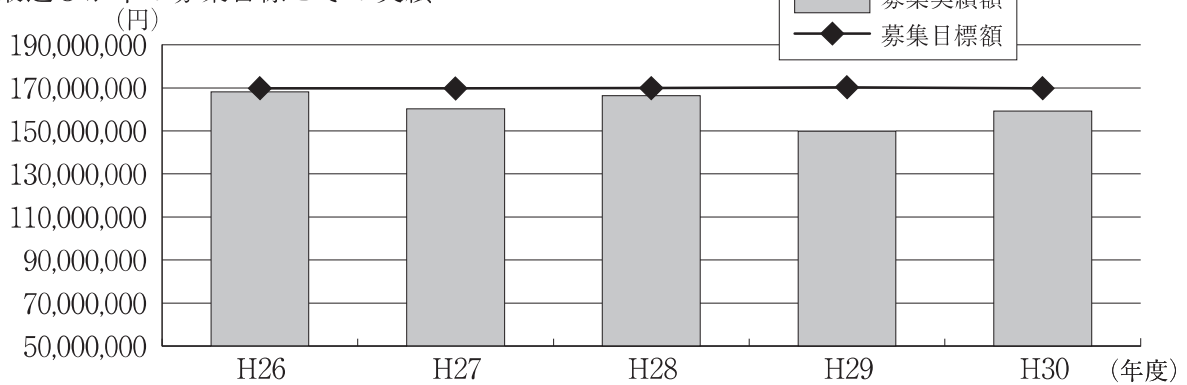
## 平成30年度地区・分區別社資募集実績

平成31年3月31日現在  
日本赤十字社滋賀県支部

地区区分名	30年度社資 目標額 A (円)	地区区分・支部 による収納額 B (円)	ダイレクトメール 収納額 C (円)	口座振替 加入収納額 D (円)	クレジットカード 収納額 E (円)	30年度社資 収納額 F=B+C+D+E (円)	達成率 F/A (%)
大津市	33,888,000	12,606,653	2,366,813	949,000	290,000	16,212,466	47.8%
彦根市	10,577,000	5,662,340	298,000	206,000	24,000	6,190,340	58.5%
長浜市	14,756,500	9,324,318	570,319	206,000	264,000	10,364,637	70.2%
近江八幡市	10,042,000	4,967,662	279,500	285,000	10,000	5,542,162	55.2%
草津市	6,691,000	4,922,311	344,000	409,000	165,000	5,840,311	87.3%
守山市	8,707,000	7,417,438	263,500	36,000	2,000	7,718,938	88.7%
栗東市	6,799,000	4,231,095	756,000	48,000	104,000	5,139,095	75.6%
甲賀市	12,104,500	9,713,290	339,000	44,000	12,000	10,108,290	83.5%
野洲市	5,840,500	4,342,723	311,000	70,000	40,000	4,763,723	81.6%
湖南市	5,959,000	4,154,302	139,488	51,000	13,000	4,357,790	73.1%
高島市	6,742,500	4,637,357	325,727	14,000	2,000	4,979,084	73.8%
東近江市	14,410,500	14,442,458	367,300	119,000	39,000	14,967,758	103.9%
米原市	5,614,500	6,387,782	396,300	69,000	12,000	6,865,082	122.3%
市地区計	142,132,000	92,809,729	6,756,947	2,506,000	977,000	103,049,676	72.5%
日野町	2,797,500	2,782,079	23,000	0	10,000	2,815,079	100.6%
竜王町	1,760,500	1,152,500	0	10,000	0	1,162,500	66.0%
東近江計	4,558,000	3,934,579	23,000	10,000	10,000	3,977,579	87.3%
愛荘町	2,489,000	2,568,226	65,000	28,000	10,000	2,671,226	107.3%
豊郷町	951,500	955,625	165,000	48,000	0	1,168,625	122.8%
甲良町	1,093,500	1,128,000	0	0	0	1,128,000	103.2%
多賀町	1,164,000	1,230,900	103,000	2,000	0	1,335,900	114.8%
湖東計	5,698,000	5,882,751	333,000	78,000	10,000	6,303,751	110.6%
郡地区計	10,256,000	9,817,330	356,000	88,000	20,000	10,281,330	100.2%
地区計	152,388,000	102,627,059	7,112,947	2,594,000	997,000	113,331,006	74.4%
支部直接扱	17,445,000	45,479,807	367,500	0	5,000	45,852,307	262.8%
小計	169,833,000	148,106,866	7,480,447	2,594,000	1,002,000	159,183,313	93.7%
個人住民税寄付金 控除対象救援金	0	2,447,000	0	0	0	2,447,000	
施設用途 指定寄付金	0	6,780,000	0	0	0	6,780,000	
合計	169,833,000	157,333,866	7,480,447	2,594,000	1,002,000	168,410,313	99.2%



最近5か年の募集目標とその実績



(単位：円)

凡 例	年 度	H26	H27	H28	H29	H30
◆	募 集 目 標 額	169,829,000	169,783,000	169,924,000	170,310,000	169,833,000
	(うち口座振替目標額)	(3,274,000)	(3,330,000)	(2,930,000)	(3,125,000)	(3,152,000)
	(うちクレジット目標額)	(555,000)	(453,000)	(994,000)	(1,185,000)	(681,000)
■	募 集 実 績 額	168,155,959	160,260,844	166,328,125	149,879,044	159,183,313

(上記募集実績額は個人住民税寄付金控除対象救援金・管内赤十字病院等への用途指定寄付金は除く)

### (3) タウンプラス (配達地域指定郵便) を活用した活動資金募集

各地区分区において、市街地を中心に自治会未加入世帯や自治会未結成地域が増加しており、活動資金への協力が得られにくい状況である。これに対して、今年度初めて、日本郵便株式会社のタウンプラス (配達地域指定郵便) を活用し活動資金募集およびチラシを配布した。実施内容は以下のとおり。

	送付件数	応諾数	応諾率	協力金額
大津市地区	5,986件	21件	0.4%	162,000円

※自治会が未結成のマンション世帯へ送付した。

### (4) 法人活動資金募集の実績

#### ア 法人活動資金の実績

	予 算 額	募 集 実 績 額
指定寄付金	4,745,000円	4,745,000円
損金算入限度額特例扱寄付金	8,255,000円	23,901,728円
合 計	13,000,000円	28,646,728円

※指定寄付金として募集した額は、救護資機材等の整備費に充当した。

#### イ ダイレクトメール (DM) による募集

年2回 (7月・11月) 発送のダイレクトメールにより、法人に対して活動資金の募集を行った。

	発 送 数	応 諾 数	応 諾 率	協 力 金 額
7月 発送分	6,669件	253件	3.8%	6,117,960円
11月 発送分	3,926件	65件	1.7%	687,000円
合 計	10,595件	318件	3.0%	6,804,960円

【発送条件】

7月発送分：支部保有法人データ全件

①(株)帝国データバンクから購入した売上高5千万円以上の法人

②草津市・旧志賀町の法人

11月発送分：7月にDMを発送した①の法人のうち、未応諾の法人

ウ 訪問による募集

支部職員、地区分区事務職員、協賛委員、奉仕団員が法人を訪問し、活動資金の募集を行った。

	訪問数	応諾数	応諾率	協力金額
16 地区分区	2,013件	1,823件	90.6%	8,896,699円

(5) 企業・団体等とのパートナーシップ構築の推進

企業・団体に対して、CSRの一環として募金箱や寄付金つき自動販売機の設置依頼や赤十字支援マークの使用などを通じた赤十字への支援を推進した。

ア 募金箱設置による協力

設置数 13か所（内、新規2か所）

金額 282,929円

イ 寄付金つき自動販売機設置

設置数 12か所（内、新規2か所）

金額 924,285円

ウ 赤十字支援マークの使用

4法人（内、新規2法人）

(6) 支部会員情報管理システムによる適正な情報管理

平成29年度に社員制度が改正され、2,000円以上ご協力いただいた会員の管理を適正に行うこととなったため、今年度6月1日より新たに会員情報管理システムを導入した。これにより、支部が直接管理する会員の情報はもとより、地区分区にてご協力いただいた会員の情報についても支部が集約し、年2回（4月、7月）の情報提供や表彰歴などを管理することが可能になった。

(7) 赤十字会員

会員数（年額2,000円以上協力者）

	会員数	増減(前年度比)
個人(人)	3,524	600
法人(法人)	2,180	343
合計(人・法人)	5,704	943

(平成31年3月31日現在)

## (8) 有功章等受章者数

(単位：件)

	個人	法人	合計
紺綬褒章	1	0	1
社長感謝状	10	8	18
金色有功章	10	5	15
銀色有功章	16	23	39
支部長表彰状	18	44	62
特別社員章	228	0	228

(平成31年3月31日現在)

## 5 災害救護活動

日本赤十字社は、災害対策基本法により「指定公共機関」として位置づけられ、災害救助法により国及び都道府県に対する救助への協力義務が規定されている。

また、滋賀県支部は、滋賀県と「災害時の医療救護活動に関する協定書」を締結しており、医療、助産、死体の処理に関する事項を実施することとなっている。

平成30年度は国内災害が多く発生し、滋賀県支部においても医療救護班等の派遣など組織の総力をあげて救護活動を実施した。このほか、救護班要員等の研修・訓練を行うなど救護員の育成に努めた。

## (1) 災害救護活動等の実施

## ア 大阪府北部地震

6月18日7時58分に発生した大阪府北部を震源とするマグニチュード6.1の地震により大阪府北部では最大震度6弱を観測、各地で大きな被害をもたらした。

この地震による滋賀県支部の活動は次のとおり。

## ① 救護班の派遣状況

(単位：人)

区分	派遣施設名	派遣期間	医師	看護師長	看護師	薬剤師	主事	活動場所
第1班	大津・支部	6/18	1	1	2	1	3	大阪市
第2班	長浜	6/21	2	1	1		1	茨木市

## ② DMAT (災害医療チーム) の派遣状況

(単位：人)

派遣施設名	派遣期間	医師	看護師	業務調整員	活動場所
大津赤十字病院	6/18・19	1	1	1	滋賀県医療調整本部
大津赤十字病院	6/18	1	2	2	大阪市
長浜赤十字病院	6/18・19	1	2	1	大阪市

イ 米原市竜巻災害

6月29日13時40分ごろに米原市で発生した竜巻とみられる突風により米原市<sup>きたがた</sup>北方、夫<sup>ぶ</sup>馬、朝日の3地区とその周辺では、建物への被害が確認された。滋賀県支部では、長浜赤十字病院から発生の一報を受け被害状況の確認と地域住民の健康調査を目的として下記のとおり救護班を派遣した。

① 救護班の派遣状況

(単位：人)

区分	派遣施設名	派遣期間	医師	看護師長	看護師	薬剤師	主事	活動場所
第1班	長浜	6/29	1	1			1	米原市
第2班	長浜	6/30	2	1	1		1	米原市

ウ 平成30年7月豪雨災害

6月28日から7月8日にかけて停滞した前線と台風第7号の影響により西日本を中心に記録的な降雨を観測、各地で多くの土砂災害、洪水被害をもたらした。

この災害を受け日本赤十字社第4（近畿）ブロックでは、岡山県内の被災地域の支援をおこなうこととなり、滋賀県支部からは救護班2班と被災地域の医療コーディネートを目指す「日赤災害医療コーディネートチーム」1チームを派遣した。

また、DMATからは滋賀県からの呼びかけに応じ、大津赤十字病院よりロジスティクスチームの要員が愛媛県に派遣された。

① 日赤災害医療コーディネートチームの派遣状況

(単位：人)

派遣施設名	派遣期間	コーディネーター	コーディネートスタッフ			活動場所
		医師	看護師	薬剤師	主事	
長浜	7/15~21	1	1	1	1	倉敷市

② 救護班の派遣状況

(単位：人)

区分	派遣施設名	派遣期間	医師	看護師長	看護師	薬剤師	主事	活動場所
第1班	大津・支部	7/15~18	2	1	2	1	3	倉敷市
第2班	長浜	7/24~27	2	1	2	1	2	倉敷市 総社市

③ DMATロジスティクスチームの派遣状況

(単位：人)

派遣施設名	派遣期間	医師	看護師	活動場所
大津赤十字病院	7/10~15	1	1	宇和島市 八幡浜市

※滋賀県からは上記要員の以外に他の医療機関から1人を派遣

(2) 災害救援物資及び弔慰金の配分状況

地震、火災、風水害などの自然災害、人為災害時に全壊、全焼、流出の世帯に対し、支部備蓄の救援物資の配布や死亡者に対して弔慰金を配分する。

平成30年度は次のとおり救援物資及び弔慰金の配分を行った。

ア 災害救援物資

物資名	数量	物資名	数量
毛布	68枚	大判タオル	40本
緊急セット	14個	タオル	23本

イ 弔慰金

7件：死者10人 配分額 100,000円

(3) 義援金、海外救援金の受付状況

期間/平成23年3月～平成31年3月

名 称	件数	金額 (円)	送 金 先
東 日 本 大 震 災 義 援 金	4,928件	1,297,278,046	日 本 赤 十 字 社 本 社

期間/平成28年4月～平成29年3月

名 称	件数	金額 (円)	送 金 先
平 成 2 8 年 熊 本 地 震 災 害 義 援 金	1,619件	174,213,932	日 本 赤 十 字 社 本 社

期間/平成29年4月～平成31年3月

名 称	件数	金額 (円)	送 金 先
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	263件	18,999,716	日 本 赤 十 字 社 本 社

期間/平成30年4月～平成31年3月

名 称	件数	金額 (円)	送 金 先
平成30年大阪府北部地震災害義援金	126件	2,902,083	日 本 赤 十 字 社 本 社
平 成 3 0 年 7 月 豪 雨 災 害 義 援 金	491件	45,577,603	日 本 赤 十 字 社 本 社 日本赤十字社広島県支部 日本赤十字社岡山県支部
平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	190件	12,441,725	日 本 赤 十 字 社 本 社
2018年インドネシア・ロンボク島地震救援金	51件	382,843	日 本 赤 十 字 社 本 社
2018年インドネシア・スラウェシ島地震救援金	56件	3,023,266	日 本 赤 十 字 社 本 社
2019年モザンビークサイクロン救援金	1件	3,000	日 本 赤 十 字 社 本 社
海 外 救 援 金 ( 無 指 定 )	1件	10,000	日 本 赤 十 字 社 本 社

期間/平成30年4月～平成31年3月

名 称	件数	金額 (円)	送 金 先
平 成 3 0 年 米 原 市 竜 巻 災 害 義 援 金	1,350件	35,092,059	平成30年米原市竜巻災害 義援金募集・配分委員会

(4) 支部災害救護倉庫の施設見学

実施日	団体名	参加者(人)
6月25日	湖南省甲西赤十字奉仕団	29
7月3日	草津市赤十字奉仕団老上分団	40
7月23日	大津市赤十字奉仕団瀬田中分団	15
11月7日	草津市赤十字奉仕団第二分団	42
11月12日	高島市地区赤十字奉仕団	19
11月26日	野洲市中主赤十字奉仕団	30

(5) 救護資機材の整備

災害対応能力強化のための資機材として、県内医療施設にバルーン投光器、テント、救護班用装備品、災害用非常食、備品格納倉庫等を整備した。

また、医療セット（薬品セット）の維持管理にかかる薬品補充を大津赤十字病院・大津赤十字志賀病院・長浜赤十字病院にそれぞれ配備した。

(6) 訓練及び研修

ア 日本赤十字社第4ブロック合同災害救護訓練

6月2日、大阪城公園太陽の広場、大阪赤十字会館を会場として第4ブロック合同災害救護訓練が実施され当県からは下記の人員が参加した。

【参加者数】

救護班要員等……………45人

(滋賀県支部3人、大津赤十字病院9人、大津赤十字志賀病院6人、長浜赤十字病院7人)

大津赤十字看護専門学校……………35人

防災支援赤十字奉仕団員・無線赤十字奉仕団員……………12人

【運営スタッフ】 20人

(滋賀県支部2人、大津赤十字病院7人、大津赤十字志賀病院4人、長浜赤十字病院7人)

イ 滋賀県総合防災訓練

9月2日、滋賀県甲賀地域で「平成30年度滋賀県総合防災訓練」が実施され滋賀県支部では、「現地災害対策本部設置及び現地合同本部連絡会議運営訓練」、「避難所アセスメント・避難所救護所設置訓練」、「災害ボランティアセンター非常態勢移行・機動運営訓練」、赤十字奉仕団員による炊き出しなどの訓練に参加した。

【参加者数】

救護班要員等……………11人

(滋賀県支部3人、大津赤十字病院8人)

防災支援赤十字奉仕団員・無線赤十字奉仕団員……………3人

地域赤十字奉仕団員……………51人

ウ 大津市総合防災訓練

9月17日、大津市立日吉中学校において実施され、滋賀県支部では避難所救護所訓練、災害ボランティアセンター設置運営訓練、災害時炊き出し訓練に参加した。

【参加者数】

救護班要員等……………16人  
(滋賀県支部1人、大津赤十字病院9人、大津赤十字志賀病院6人)  
防災支援赤十字奉仕団員・無線赤十字奉仕団員……………15人  
地域赤十字奉仕団員……………10人

エ 救護員としての赤十字看護師研修（合同災害救護演習）

① 合同災害救護演習

実施日 11月2日  
場 所 長浜赤十字病院2号館5階会議室  
参加者 大津・大津志賀・長浜各赤十字病院の看護師……48人  
指導者 支部及び管内施設職員スタッフ……………12人

② フォローアップ研修

実施日 2月4日・5日  
場 所 大津赤十字病院2階小講堂  
参加者 救護員としての赤十字看護師研修修了者……………26人  
指導者 大津赤十字病院スタッフ……………5人

オ 救護班主事研修

災害救護活動についての理解を深め、救護班における主事としての役割や責任を明確にし、庶務的な業務に特化した知識および救護資器材の使用方法を習得することを目的として「救護班主事研修」を下記のとおり実施した。

実施日 8月21日  
場 所 滋賀県赤十字血液センター会議室  
参加者 大津・大津志賀・長浜各赤十字病院の事務職員等…19人  
指導者 支部及び管内施設職員スタッフ……………6人

カ 原子力災害対応基礎研修会

救護班要員等が放射線環境下で安全かつ安心して活動に従事できることを目的に、11月30日、12月1日、日赤本社との共催で「平成30年度日本赤十字社原子力災害対応基礎研修会」を長浜赤十字病院で開催し、第4ブロック支部・医療施設から参加者49人（うち滋賀県内15人）、全国から指導スタッフ25人の参加があった。

キ 日本赤十字社本社主催の災害救護関係研修会への参加

① 全国赤十字救護班研修

災害の超急性期を含めた日赤救護班の初期活動の強化と技術の向上を目的として、10月及び2月に開催された。

なお、当初予定されていた8月開催分は、平成30年7月豪雨災害の発生に伴い見送りとなった。



滋賀県からも研修参加または指導スタッフとして下記の人数が参加した。  
 参加者 4人（滋賀県支部1人 大津赤十字病院3人）  
 指導スタッフ 7人（大津赤十字病院3人 長浜赤十字病院4人）  
 ※指導スタッフは延べ人数

② 災害医療コーディネート研修

災害医療におけるコーディネーションのための知識習得、コーディネート活動に対する考え方の共通認識などを目的に研修会が年2回実施されており、滋賀県からは次のとおり参加があった。

参加者 3人（大津赤十字病院2人 長浜赤十字病院1人）  
 指導スタッフ 4人（大津赤十字病院2人 長浜赤十字病院2人）  
 ※指導スタッフは延べ人数

ク こころのケア研修

被災者及び救援者である救護員へのこころのケアの重要性について理解を深めるとともに、救護員自身のこころのケアに関する対処方法を取得することを目的として実施した。

	大津赤十字病院	長浜赤十字病院
実施日	6月21・26日	7月28日
修了者人数	29人	16人
指導スタッフ	5人	9人

(7) 救護員の登録状況

常備救護班は医師を班長として1人、看護師長1人、看護師2人、主事1人、自動車操作要員1人の計6人をもって1班とし、大津赤十字病院に4個班、大津赤十字志賀病院に1個班、長浜赤十字病院に3個班を常備編成している。

(8) 救護資材整備状況及び救援物資備蓄状況

ア 救護資機材整備状況

品名	保有数	品名	保有数
災害救援車	2	業務用無線基地局	2
災害用通信指令車	2	車載型業務用無線機	14
救護所用大型テント	2	携帯型業務用無線機	25
救護所用テント空調装置	2	車載型衛星電話	2
天幕(3.6m×5.4m)	6	衛星携帯電話	3
エアータント(大・小)	2	病院前除染設備一式	2
ワンタッチテント	7	医療セット一式	8
担架	24	移動式炊飯器	2
担架架台	5	救護員用雨具	60
折り畳み寝台	31	救護員用防寒具	60
発電機	4	救護員用寝袋	18



イ 災害救援物資の備蓄状況

品名	保有数	品名	保有数
毛布	9,658	大判タオル	509
緊急セット	1,187	タオル	1,304
安眠セット	390	タオルケット	1,200

6 臨時救護

集会、競技、祭典などの多数の人達が集まる場所へ救護員を派遣し、不慮の事故、傷病者の救護にあたったもので、平成30年度の実施状況は次のとおりである。

滋賀県障害者スポーツ大会（県大会）

競技名	開催日	場所	派遣者	取扱い患者数
アーチェリー	5月20日(日)	県立障害者福祉センター	看護師1人	1人
フライングディスク	6月3日(日)	県立障害者福祉センター	看護師1人	1人
水泳	8月26日(日)	県立障害者福祉センター	看護師1人	2人
卓球	11月4日(日)	草津市立総合体育館	看護師1人	2人
バレーボール	11月10日(土)	県立障害者福祉センター	看護師1人	0人
サッカー	11月11日(日)	守山市ビッグレイク	看護師1人	3人
バスケットボール ソフトボール	11月11日(日)	守山市民運動公園体育館	看護師1人	0人
グラウンドゴルフ選手権大会	11月24日(土)	長浜バイオ大学ドーム	看護師1人	0人

BIWAKO クロカン 2019

競技名	開催日	場所	派遣者	取扱い患者数
全日本びわ湖 クロスカントリー大会	2月17日(日)	滋賀県立 希望が丘文化公園	看護師1人	5人

7 赤十字救急法・健康生活支援講習等の講習普及

(1) 救急法

日常生活などで不慮の事故にあったときの応急手当や救命手当を教え、傷病者の状態を悪化させないようにして、医師などに引き渡すまでの知識と技術を誰にでもできるように赤十字奉仕団、一般住民、学校・会社・福祉施設の職員、PTA等を対象に行った。平成30年度の実施状況は次のとおりである。

区分	実施回数	受講人数
一般普及講習	基礎講習	435人
	救急員養成	353人
短期講習	160回	5,278人
資格継続研修	13回	118人

(2) 健康生活支援講習

健やかな高齢期を過ごすための健康維持・増進の思想と、高齢者の自立をめざした介護の方法を指導するもので、赤十字奉仕団、一般住民、会社・福祉施設の職員、高校生等を対象に行った。平成30年度の実施状況は次のとおりである。

区 分	実施回数	受講人数
一般普及講習支援員養成	4回	93人
短期講習	44回	313人
資格継続研修	1回	1人

(3) 幼児安全法

子供を社会の財産として大切に育てるため、子供に起こりやすい事故に対する応急手当の方法と事故防止、家庭内での看病の方法を中心として赤十字奉仕団、一般住民、保育園・幼稚園の職員、福祉施設の職員等を対象に行った。平成30年度の実施状況は次のとおりである。

区 分	実施回数	受講人数
一般普及講習支援員養成	2回	58人
短期講習	33回	901人
資格継続研修	1回	5人

(4) 水上安全法

水を活用して、健康の増進を図り、水の事故から生命を守るための知識や技術などを一般住民、学校・スポーツ施設の職員等を対象に行った。平成30年度の実施状況は次のとおりである。

区 分	実施回数	受講人数
一般普及講習 救助員養成 I	1回	13人
短期講習	13回	704人
資格継続研修	1回	3人

(5) 講習指導員の研修

滋賀県支部に所属する講習指導員に対し、赤十字救急法教本および、水上安全法教本の改訂に伴う、新教本、新指導要領の内容を伝達し、新たな知識、技術を習得し新講習開始に適切に対応できるようにした。また、技能維持や指導内容の統一等を目的に講習指導員研修を行った。平成30年度の実施状況は次のとおりである。

ア 新教本等伝達研修

実施日	会場	対象指導員	参加人数
2月8日・9日 3月3日・16日・23日・24日	滋賀県支部 大津赤十字病院 長浜赤十字病院	救急法	133人
2月16日 3月3日・16日・24日	立命館大学 大津赤十字病院 長浜赤十字病院	水上安全法	20人

イ 指導員実践力向上研修

実施日	会場	対象指導員	参加人数
8月9日	滋賀県危機管理センター	救急法・水上安全法	2人
10月13日	長浜赤十字病院	救急法・水上安全法	2人

ウ 第4ブロック健康生活支援講習指導員研修会（滋賀県支部主催）

実施日	会場	対象指導員	参加人数
12月11日	大津赤十字病院	健康生活支援講習	72人 (県内指導員 29人参加)

(6) 健康生活支援講習及び幼児安全法指導員数

講習種別	ボランティア	赤十字職員	総数
健康生活支援講習	13人	24人	37人
幼児安全法	18人	23人	41人

(7) 赤十字講習普及推進サポーター事業

日本赤十字社滋賀県支部が実施する各赤十字講習の円滑かつ効率的な推進を図るため、講習依頼者とボランティア指導員とのマッチングその他必要な業務を行うサポーター制度により、救急法ボランティア指導員2人に委嘱した。10回にわたりサポーター会議を開催し、講習指導員の派遣調整等を行い、指導の少ない指導員の活性化も図った。

(8) 防災教育の普及

ア 近年多発する災害の影響などで、地域の防災意識や救急法などの赤十字講習への関心が高いことから日本赤十字社滋賀県支部では、地震や風水害などの自然災害に対する正しい知識や災害時の備え等について、赤十字のノウハウを活用した防災教育事業を地域自治会・赤十字奉仕団等に対して実施した。

期日	申込団体	講習・研修内容	参加人数
6月10日	大津市弥生町自治会	災害への備え、非常食の炊き出し	約80人
7月11日	東近江市	地域で備える「防災」	156人
7月24日	近江八幡市赤十字奉仕団 八幡分団	災害発生時の対応、身近なものを用いた応急手当	30人
8月4日	東近江市永源寺赤十字奉仕団	災害時の備え、身近なものを用いた応急手当	29人
8月26日	東近江市躰光寺自治会	災害時の備え	約200人
9月9日	竜王町赤十字奉仕団	災害時の備え	75人
10月12日	滋賀県立八幡高等学校	災害発生時における避難行動について	約1,000人
10月21日	長浜市民国際交流協会	一次救命措置、身近なものを用いた応急手当	60人
11月4日	東近江市	避難所運営ゲーム	13人
11月14日	近江八幡市島学区	災害時イメージーションゲーム	50人
12月11日	滋賀県立八日市南高等学校	避難所におけるこころのケア	120人
1月15日	JAグリーン近江	災害時の備え	40人
1月20日	大津市桐生自治会	災害発生時の自助・共助について	約50人
3月5日	竜王町赤十字奉仕団	身近なものを使った応急手当	37人

(9) 滋賀県安全法指導員協議会

救急法・水上安全法の指導員の資格を有する者をもって会員とし、講習普及や人命尊重と苦痛の軽減に寄与することを目的に結成されており、支部の講習計画に基づき、県内の講習普及に努めている。

救急法指導員 156人、水上安全法指導員28人 計176人（重複8人）

区 分	期 日	出 席 者	内 容
第1回役員会	5月10日(木)	13人	1 平成29年度事業報告、収支決算 2 平成30年度事業計画、収支予算 3 赤十字講習普及推進サポーターについて 4 赤十字救急法等指導員伝達研修、指導員実践力向上研修について
総会	6月9日(土)	67人	1 平成29年度事業報告、収支決算 2 平成30年度事業計画、収支予算 3 赤十字講習普及推進サポーターについて 4 指導員実践力向上研修について 5 表彰 6 研修会 救急法手技実技確認 水上安全法救助員養成講習指導方針、手技DVD映像研修
第2回役員会	12月20日(木)	13人	1 平成30年度事業実施状況について 2 講習実施状況と指導員派遣状況について 3 赤十字講習普及推進サポーター事業について 4 平成31年度事業計画について 5 救急法・水上安全法教本改訂伝達研修、指導員実践力向上研修について

8 赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、市町の地域毎につくられる地域奉仕団と社会人や学生などによって組織された青年奉仕団、また特殊技能者が集まった特殊奉仕団がある。

赤十字奉仕団は、赤十字思想の普及や災害救護など、赤十字事業の推進にあたりとともに、地域の状況に応じた福祉活動など幅広い活動を展開している。

(1) 設団状況

ア 地域奉仕団

地域別	団数(団)	分団または班数 (団または班)	団 員 数 (人)		
			男	女	計
市	43	555	655	13,105	13,760
町	7	85	56	1,668	1,724
計	50	640	711	14,773	15,484

イ 青年奉仕団

名 称	団 員 数 (人)		
	男	女	計
滋賀県青年赤十字奉仕団はなまる	0	3	3
大津赤十字看護専門学校学生奉仕団めだか	6	87	93
計	6	90	96

ウ 特殊奉仕団

名 称	団 員 数 (人)		
	男	女	計
滋賀県無線赤十字奉仕団	15	1	16
滋賀県青少年赤十字賛助奉仕団	79	20	99
滋賀県防災支援赤十字奉仕団	39	18	57
計	133	39	172

(2) 地域赤十字奉仕団の活動

ア 赤十字奉仕団滋賀県支部委員会

開 催 日	出席者数	会 場	内 容
4月11日(水)	県支部委員15人 指導講師 5人	滋賀県支部 会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 新役員の選出について</li> <li>2 平成29年度事業報告及び会計収支決算について</li> <li>3 平成30年度事業計画及び会計収支予算について</li> <li>4 一声ふれあい運動推進事業指定奉仕団について</li> <li>5 平成30年度赤十字奉仕団基本目標について</li> <li>6 その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度赤十字奉仕団副委員長研修会について</li> </ul> </li> </ol>
10月3日(水)	県支部委員16人 指導講師 5人	滋賀県支部 会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成30年度赤十字奉仕団員研修の反省について</li> <li>2 平成31年度赤十字奉仕団員研修について</li> <li>3 赤十字奉仕団男性団員交流研修会について</li> <li>4 その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤十字奉仕団滋賀県支部委員会事業資金(団費)納入状況について</li> <li>・赤十字手帳の送付について</li> </ul> </li> </ol>
1月22日(火)	県支部委員14人 指導講師 4人	滋賀県支部 会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成30年度事業の実施状況及び決算見込みについて</li> <li>2 平成31年度事業計画(案)及び予算(案)について</li> <li>3 奉仕団委員長研修(奉仕団員研修下見)について</li> <li>4 その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちは、わすれない。」プロジェクトの実施について</li> </ul> </li> </ol>

イ 赤十字奉仕団滋賀県支部常任委員会

開催日	参加者数	会場	内容
6月6日(水)	常任委員8人 指導講師3人	滋賀県支部 会議室	1 平成30年度赤十字奉仕団委員長会議・研修会について 2 平成30年度赤十字奉仕団副委員長研修会について 3 その他 • 幹旋物資送料について
8月10日(金)	常任委員8人 指導講師3人	滋賀県支部 会議室	1 平成30年度赤十字奉仕団副委員長研修会について 2 平成30年度赤十字奉仕団男性団員交流研修会について 3 平成30年度赤十字奉仕団員研修について 4 平成31年度赤十字奉仕団員研修企画書について 5 その他 • 奉仕団員用エプロンについて
12月12日(水)	常任委員8人 指導講師4人	滋賀県支部 会議室	1 平成30年度赤十字奉仕団男性団員交流研修会について 2 平成30年度事業の実施状況について 3 平成31年度事業計画(案)について 4 その他
3月12日(火)	常任委員8人 指導講師4人	滋賀県支部 会議室	1 平成31年度赤十字奉仕団基本目標について 2 平成31年度赤十字奉仕団委員長会議・研修会について 3 地域奉仕団の増強に関する検討部会の開催について 4 赤十字奉仕団幹旋物資について 5 報告事項 • 平成31年度赤十字奉仕団員研修について

ウ 赤十字奉仕団委員長会議・研修会

開催日	出席者数	会場	内容
4月25日(水) ～26日(木)	奉仕団委員長47人 指導講師4人	ピアザ淡海 (県立県民交流センター) ホテルピアザ びわ湖	1 赤十字について 2 基本目標と奉仕団活動 3 防災教育事業について 4 活動報告 (1) 一声ふれあい運動推進事業 (2) 組織強化推進事業 5 グループワーク テーマ:「委員長として、平成30年度重点目標を踏まえて、団活動を進めるには」 6 日本赤十字社の組織と活動資金の募集について 7 男性の参画による地域奉仕団のあり方検討委員会報告 8 奉仕団事務取り扱い・研修日程調整

エ 支部主催赤十字奉仕団研修会

名 称	開 催 日	参加者数	会 場	内 容
副委員長 研修会	7月10日(火)	副委員長99人 役員・ 指導講師 13人	コラボしが21	1 赤十字と基本目標について 2 副委員長の役割について 3 グループワーク テーマ：副委員長の役割とは ～平成30年度重点 目標を踏まえた 団活動を推進す るために～
男性団員 交流研修会	10月12日(金)	男性団員45人 常任委員・ 指導講師 14人	コラボしが21	1 「赤十字～赤十字奉仕団～」 2 「赤十字の人道活動に男 性の力を」 3 「赤十字救護班から見た 被災地」 ～地域の力で築く、避難所 での安心と安全とは～ 4 活動発表 5 分散会 テーマ：災害から地域を 守るために奉仕 団ができること

オ 赤十字奉仕団員研修

① 赤十字奉仕団員研修

実施日	参加者	宿泊地	研修テーマ・訪問施設
8月26日(日) ～ 10月17日(水)	奉仕団員 1,896人	香川県仲多度郡 琴平町	【「友愛・互助・平和」に生涯をささげた 賀川豊彦氏】 ・鳴門市賀川豊彦記念館 ・鳴門市ドイツ館 ・阿波おどり会館

② 赤十字奉仕団委員長研修（平成31年度団員研修下見）

実施日	参加者	宿泊地	研修テーマ・訪問施設
2月20日(水) ～21日(木)	委員長 47人 指導講師 2人	長野県諏訪市	【近代日本の発展に寄与した女性（工女）た ちの群像 琵琶湖周航の歌100周年 作詞の 小口太郎生誕120年 小口太郎の生誕地「岡 谷」で地元保存会と歌で交流】 ・岡谷カノラホール ・シルクファクト岡谷 ・諏訪大社



カ 赤十字奉仕団中央委員会

開催日	参加者	会場	内容
5月31日(木) ～ 6月1日(金)	県副委員長	日本赤十字社 本社	<ul style="list-style-type: none"> <li>各ブロック赤十字奉仕団委員会議等の報告</li> <li>平成30年度日本赤十字社事業計画</li> <li>本社報告「炊き出しレシピに関する第2回アンケート結果」</li> <li>協議事項「赤十字奉仕団員の信条」の見直しにかかる検討</li> <li>地域ニーズに基づいた奉仕団の活動状況調査にかかるアンケート結果</li> <li>講演「赤十字の力を活かした高齢者支援」</li> <li>事例発表「地域高齢者生活支援活動事業について」</li> <li>分科会 テーマ：各地域における少子高齢化に対する赤十字活動</li> </ul>

キ 赤十字奉仕団一日研修会

奉仕団員の意識を高揚し、真の奉仕者組織としての健全な奉仕団の育成を期するため、今年度も15郡市地区が、それぞれの主催で一日研修会を開催し、団活動についての講演、DVD上映、事例発表等を行った。

地区別	開催日	人数(人)	地区別	開催日	人数(人)
大津市	11月7日	133	彦根市	11月29日	112
長浜市	11月12日	325	近江八幡市	11月9日	315
草津市	12月4日	85	守山市	10月19日	232
栗東市	7月26日	91	甲賀市	7月17日	222
野洲市	9月29日	109	湖南市	10月19日	119
高島市	7月13日	169	東近江市	10月25日	238
米原市	10月20日	100	東近江	11月8日	103
湖東	11月13日	115			

ク 赤十字奉仕団広報紙の発行

発行日	発行号	発行部数(部)
10月15日	第56号	20,000
3月15日	第57号	20,000

ケ 一声ふれあい運動推進事業の推進

地域の在宅高齢者等への訪問活動（声かけ運動）を行い、地域の人々とのふれあいを深めながら、住みよい町づくりをめざす一声ふれあい運動を一層推進するため、2団を推進奉仕団として指定し、助成を行った。

実施期間	奉仕団名	交付額(円)
平成30(2018)年5月1日 ～令和2(2020)年3月31日	高島市マキノ	25,000
	日野町	25,000
合計		50,000



(3) 青年赤十字奉仕団の活動

事業名	開催日	参加人員	場所
第1回滋賀県赤十字奉仕団 (青年・無線・防災支援) 合同研修会	4月15日	2人	滋賀県支部
第1回連絡協議会	5月23日	5人	滋賀県支部
青年赤十字奉仕団第4ブロック協議会 代表者会議	5月27日	2人	大阪府支部
第2回滋賀県赤十字奉仕団 (青年・無線・防災支援) 合同研修会	7月29日	3人	滋賀県支部
青年赤十字奉仕団第4ブロック協議会 第1回役員会	9月9日	1人	大阪府支部
第2回連絡協議会	10月11日	2人	滋賀県支部
青年赤十字奉仕団第4ブロック協議会 リーダー養成研修会	11月24日 ～25日	3人	兵庫県 しかわせの村
第3回滋賀県赤十字奉仕団 (青年・無線・防災支援) 合同研修会	11月11日	1人	滋賀県支部
海外たすけあい街頭募金	12月15日	16人	JR石山駅
「はたちの献血」キャンペーン	1月14日	17人	イオンモール草津
第4回滋賀県赤十字奉仕団 (青年・無線・防災支援) 合同研修会	1月27日	4人	滋賀県支部
青年赤十字奉仕団第4ブロック協議会 第2回役員会	2月23日	1人	兵庫県支部

(4) 滋賀県無線赤十字奉仕団の活動

平成30年度においては、大阪府北部地震の災害ボランティアセンター運営支援、自治会等への防災学習の指導、各種訓練や研修会への参加など充実した活動を展開した。

主な活動については、下表のとおり。

事業名	開催日	参加人員	場所
定期総会	4月4日	4人	滋賀県支部会議室
赤十字無線救護奉仕団第4ブロック連絡 協議会	4月14日	1人	大阪府支部
第1回滋賀県赤十字奉仕団合同研修会	4月15日	3人	滋賀県支部会議室
第4ブロック合同災害救護訓練打ち合わせ	5月25日	3人	滋賀県支部会議室
第4ブロック合同災害救護訓練	6月2日	3人	大阪赤十字会館ほか
大津市唐崎学区弥生町自治会防災講習会	6月10日	3人	弥生町防災広場
大阪府北部地震にかかる高槻市ボラン ティアセンター運営支援	7月3日	1人	高槻市社会福祉協議会
五個荘中学校防災学習	7月5日	1人	東近江市立五個荘中学校
平成30年7月豪雨災害ボランティアバス への参加	7月18日	1人	京都府宮津市

近江八幡市赤十字奉仕団八幡分団防災学習	7月24日	2人	八幡コミュニティーセンター
第2回滋賀県赤十字奉仕団合同研修会	7月29日	1人	滋賀県支部会議室
東近江市永源寺赤十字奉仕団防災学習	8月4日	1人	永源寺コミュニティーセンター
東近江市躰光寺町自治会防災学習	8月26日	3人	東近江市やわらぎホール
滋賀県総合防災訓練	9月2日	1人	甲賀市立貴生川小学校
各市町総合防災訓練打ち合わせ会	9月6日	3人	滋賀県支部会議室
竜王町赤十字奉仕団防災学習	9月9日	2人	竜王町防災センター
大津市総合防災訓練	9月17日	2人	大津市立日吉中学校
大津赤十字病院災害時傷病者受入訓練	10月13日	1人	大津赤十字病院
長浜市民国際交流協会イベントへの参加	10月21日	2人	長浜市国際文化交流ハウス
東近江市防災リーダー養成講座 (HUGの指導)	11月4日	2人	八日市文化芸術会館
甲賀市立甲南第三小学校防災学習	11月10日	2人	甲賀市立甲南第三小学校
第3回滋賀県赤十字奉仕団合同研修会	11月11日	1人	滋賀県支部会議室
近江八幡市島学区防災学習 (災害時イメージーションゲーム)	11月14日	5人	近江八幡市島コミュニティーセンター
ほかほかまつりへの参加	12月9日	2人	大津市立障害者福祉センター
第4回滋賀県赤十字奉仕団合同研修会	1月27日	2人	滋賀県支部会議室
次年度打ち合わせ	3月28日	2人	滋賀県支部

(5) 滋賀県青少年赤十字賛助奉仕団の活動

ア 滋賀県青少年赤十字賛助奉仕団役員会

開催日	参加者数	会場	内容
10月18日	5人	日本赤十字社 滋賀県支部会議室	<b>【協議事項】</b> 第27回第4(近畿)ブロック青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会にかかる助成金の取り扱いについて

イ 滋賀県青少年赤十字賛助奉仕団総会

開催日	参加者数	会場	内容
6月15日	10人	日本赤十字社 滋賀県支部会議室	<b>【協議事項】</b> 平成29年度事業報告並びに収支決算について 平成30年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について <b>【報告事項】</b> 平成29年度入団者および退団者数について 滋賀県青少年赤十字指導者協議会関係の報告について

ウ 近畿ブロック青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会

開催日	出席者数	会場	内容
10月25～26日	2人	イーグレ姫路	青少年赤十字と賛助奉仕団の連携・取り組み、賛助奉仕団の課題とその対策、青少年赤十字における防災学習の普及について

エ 広報委員会

開催日	出席者数	会場	事業
5月8日	7人	日赤滋賀県支部会議室	賛助奉仕団しが第29号編集発行について
5月30日	7人	日赤滋賀県支部会議室	賛助奉仕団しが第29号原稿の校正について
10月18日	6人	日赤滋賀県支部会議室	賛助奉仕団しが第30号編集発行について
11月30日	7人	日赤滋賀県支部会議室	賛助奉仕団しが第30号原稿の校正について

オ 活動推進委員会

開催日	出席者数	会場	事業
9月3日	5人	日赤滋賀県支部会議室	賛助奉仕団の活性化等について

カ その他の会議、行事参加

開催日	出席者数	会場	事業
7月4～6日	1人	日本赤十字社本社	平成30年度全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会第1回役員会並びに総会
11月1日	12人	守山市立小津小学校	JRC研究推進委嘱校研究発表会への参加
2月28日 ～ 3月1日	1人	日本赤十字社本社	平成30年度全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会第2回役員会

キ 滋賀県青少年赤十字賛助奉仕団広報紙「JRC賛助奉仕団しが」の発行

発行日	号数	部数(部)	内容
6月15日	第29号	600	平成30年度滋賀県青少年赤十字賛助奉仕団事業計画、第42回滋賀県青少年赤十字研究推進委嘱校研究発表会案内等
12月20日	第30号	500	第42回滋賀県青少年赤十字研究推進委嘱校研究発表会、青少年赤十字の普及拡大に向けて等

(6) 滋賀県防災支援赤十字奉仕団の活動

事業名	開催日	参加人員	場所
役員会	4月12日	1人	滋賀県支部会議室
第4ブロック救護員指導者協議会への出席	4月13日	1人	大阪赤十字会館
定期総会	4月15日	18人	滋賀県支部会議室
第1回滋賀県赤十字奉仕団合同研修会	4月15日	18人	滋賀県支部会議室
役員会	5月25日	1人	滋賀県支部会議室
第4ブロック合同災害救護訓練打ち合わせ	5月25日	4人	滋賀県支部会議室
第4ブロック合同災害救護訓練	6月2日	10人	大阪赤十字会館ほか
役員会	6月9日	2人	皇子が丘公園体育館
大津市唐崎学区弥生町自治会防災講習会	6月10日	6人	弥生町防災広場
防災教育事業指導者養成講習会	6月16日 ～18日	1人	日赤本社
大阪府北部地震にかかる高槻市ボランティアセンター運営支援	7月2日 ～6日	3人	高槻市社会福祉協議会
五個荘中学校防災学習	7月5日	3人	東近江市立五個荘中学校
役員会	7月12日	4人	滋賀県支部会議室
平成30年7月豪雨災害ボランティアバスへの参加	7月18日	2人	京都府宮津市
近江八幡市赤十字奉仕団八幡分団防災学習	7月24日	3人	八幡コミュニティーセンター
第2回滋賀県赤十字奉仕団合同研修会	7月29日	17人	滋賀県支部会議室
平成30年7月豪雨災害ボランティアバスへの参加	8月2日	2人	岡山県総社市
東近江市永源寺赤十字奉仕団防災学習	8月4日	1人	永源寺コミュニティーセンター
東近江市躰光寺町自治会防災学習	8月26日	3人	東近江市やわらぎホール
滋賀県総合防災訓練	9月2日	2人	滋賀県危機管理センター
各市町総合防災訓練打ち合わせ会	9月3日	6人	滋賀県支部会議室
竜王町赤十字奉仕団防災学習	9月9日	2人	竜王町防災センター
大津市総合防災訓練	9月17日	14人	大津市立日吉中学校
役員会	10月11日	2人	滋賀県支部会議室
滋賀県立八幡高等学校防災講演	10月12日	1人	滋賀県立八幡高等学校
大津赤十字病院災害時傷病者受入訓練	10月13日	8人	大津赤十字病院
長浜市民国際交流協会イベントへの参加	10月21日	6人	長浜市国際文化交流ハウス
東近江市防災リーダー養成講座(HUGの指導)	11月4日	7人	八日市文化芸術会館
支部災害救護倉庫救護資機材点検	11月8日	2人	滋賀県赤十字血液センター
役員会	11月8日	3人	滋賀県支部会議室
甲賀市立甲南第三小学校防災学習	11月10日	5人	甲賀市立甲南第三小学校

第3回滋賀県赤十字奉仕団合同研修会	11月11日	26人	滋賀県支部会議室
近江八幡市島学区防災学習 (災害時イメージネーションゲーム)	11月14日	5人	近江八幡市島コミュニティーセンター
赤十字奉仕団愛知県支部委員会との交流会	11月29日	1人	近江八幡休暇村
ほかほかまつりへの参加	12月9日	9人	大津市立障害者福祉センター
役員会	12月13日	3人	滋賀県支部会議室
第4ブロック救護員指導者協議会への出席	12月18日	2人	竜王町地域産業研修センター
第4ブロック訓練企画・運営プロジェクト チーム打ち合わせ(第1回)	1月12日	7人	滋賀県支部会議室
JAGグリーン近江大中の湖支部防災学習	1月15日	2人	農土香の郷大中
役員会	1月17日	6人	滋賀県支部会議室
大津市青山学区自主防災会防災学習	1月20日	1人	桐生自治会館
第4ブロック訓練企画・運営プロジェクト チーム打ち合わせ(第2回)	2月3日	10人	滋賀県支部会議室
第4ブロック国際人道法普及研修会	2月19日	1人	大阪赤十字会館
第4ブロック訓練企画・運営プロジェクト チーム打ち合わせ(第3回)	2月24日	10人	滋賀県支部会議室
役員会	2月24日	4人	滋賀県支部会議室
第4ブロック救護員指導者協議会への出席	2月28日	2人	滋賀県危機管理センター
第4ブロック訓練企画・運営プロジェクト チーム打ち合わせ(第4回)	3月24日	7人	滋賀県支部会議室
役員会	3月24日	4人	滋賀県支部会議室

#### (7) 個人ボランティア

赤十字事業の推進を目的として、赤十字病院、血液センターなど県内の赤十字施設において、直接その事業に奉仕するボランティアとして、昭和53年4月から登録されている。

施設名	人数	活動内容
大津赤十字病院	49人	総合案内のお手伝いや図書の貸出し、衛生材料の整理、コンサート開催など
大津赤十字志賀病院	22人	音楽会、お誕生日会の開催、お話相手、園芸など
長浜赤十字病院	68人	外来者の受付や案内、入浴介助など
滋賀県赤十字血液センター	103人	献血者への文書発送手伝いなど

#### (8) 赤十字奉仕団以外のボランティアグループの受入状況

施設名	グループ数	主なグループ名
大津赤十字志賀病院	2	演奏ボランティア「ナルク」、「どんぐりの会」

## 9 青少年赤十字

青少年のうちから赤十字の精神を養い、世界各国の青少年と手を結んで健康と安全の増進、国際親善などの行いによって青少年の健全育成を図るため、小・中・高等学校の児童、生徒を対象として学校内で組織されたものが青少年赤十字である。現在世界の赤十字加盟は191カ国で、その多くの加盟国で青少年赤十字が取り入れられている。

### (1) 加盟校の状況

区 分	校 種 別	平成30年度	前 年 度 比
園、学校数	幼稚園等	11	1
	小学校	157	2
	中学校	47	△ 2
	義務教育学校	1	1
	高等学校	18	2
	特別支援	1	0
	総数	235	4
学級または グループ数	幼稚園等	63	3
	小学校	2,203	79
	中学校	622	△ 108
	義務教育学校	5	5
	高等学校	182	53
	特別支援	54	1
	総数	3129	33
児童・生徒数（人）	幼稚園等	1,459	38
	小学校	53,212	1,470
	中学校	19,105	△ 750
	義務教育学校	153	153
	高等学校	5,907	1,413
	特別支援	363	△ 4
	総数	80,199	2,320

### (2) 青少年赤十字指導者協議会郡市支部長会の開催

開催日	会 場	出席者数	協 議 事 項
6月8日	守山市生涯学習・教育支援センター	8人	<b>【報告事項】</b> 1 平成29年度青少年赤十字事業報告について <b>【協議事項】</b> 1 平成30年度青少年赤十字事業計画(案)について 2 役員改選(案)について <b>【その他】</b> 1 青少年赤十字加盟案内パンフレットについて

3月4日	滋賀県支部 会議室	9人	<b>【報告事項】</b> 1 平成30年度青少年赤十字事業報告について <b>【報告事項】</b> 1 平成31年度青少年赤十字事業計画(案)について 2 青少年赤十字メンバー・加盟校応援プロジェクトについて 3 滋賀県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンターについて 4 青少年赤十字加盟登録申込票について 5 滋賀県青少年赤十字指導者協議会第71回定期総会における研修会の内容及び優良校表彰について
------	--------------	----	---

(3) 本社及びブロック主催の講習会、研修会開催状況

区 分	主 催	開催日	開催場所	参加者
第58回青少年赤十字 近畿ブロック指導者研修会	日本赤十字社 和歌山県支部	6月23日 ～24日	紀三井寺 ガーデンホテル はやし (和歌山県)	県内参加者2人 (全参加者12人)
指導主事対象青少年赤十字 研究会	日本赤十字社 本社	1月9日 ～10日	日本赤十字社 本社	県内参加者1人 (全参加者56人)

(4) 支部主催のトレーニングセンター開催状況

区分	開催日	開催場所	参加者
メンバー・トレーニングセンター指導者事前打ち合わせ会	7月18日	希望が丘青年の城 (竜王町)	顧問1人・県指導員1人
リーダーシップ・トレーニングセンター	8月6日 ～8日	希望が丘青年の城 (竜王町)	参加メンバー
			小学校メンバー 30人 高校メンバー 6人 計 36人
			スタッフ
			指導者 18人 賛助奉仕団員 1人 赤十字奉仕団指導講師 1人 青年奉仕団 2人 支部職員 7人



(5) その他の会議・行事等

区 分	開催日	会 場	出席者数	備 考
指導部役員会	4月23日	滋賀県支部会議室	7人	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度青少年赤十字事業報告</li> <li>平成30年度青少年赤十字事業計画(案)について</li> <li>滋賀県青少年赤十字指導者研修会について</li> <li>滋賀県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンターについて</li> </ul>
第4(近畿)ブロック青少年赤十字指導者協議会	5月29日	日本赤十字社和歌山県支部	2人 (会長、支部職員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>役員改選について</li> <li>平成29年度活動報告及び平成30年度活動計画(案)について</li> <li>第4ブロック青少年赤十字指導者協議会会則の変更について</li> </ul>
滋賀県青少年赤十字指導者協議会第70回定期総会並びに研修会	6月8日	守山市生涯学習・教育支援センター	36人	<ul style="list-style-type: none"> <li>加盟校表彰</li> <li>平成29年度事業報告</li> <li>平成30年度事業計画(案)</li> <li>役員改選について</li> <li>講演 「青少年赤十字の教育的意義」 千葉県赤十字奉仕団 指導講師 稲積 修氏</li> </ul>
滋賀県青少年赤十字指導者研修会	6月22日	長浜市立余呉小中学校	13人	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28・29年度滋賀県青少年赤十字研究推進委嘱校大津市立坂本小学校の取り組み 大津市立坂本小学校 上田 洋一 先生</li> <li>青少年赤十字活動におけるレクリエーション手法について 長浜市立古保利小学校 岩堂 ひふみ 先生</li> </ul>
青少年赤十字全国指導者協議会・総会	6月28日～29日	日本赤十字社本社	1人 (会長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>役員改選</li> <li>平成29年度事業報告と平成30年度の取り組み</li> <li>福井県における青少年赤十字活動報告</li> <li>講演 「学校教育と青少年赤十字活動」 文部科学省初等中等教育局 視学官 青木 隆一 氏</li> <li>グループディスカッション 「各県におけるJRC活動の工夫や活性化への共有」</li> </ul>
防災学習及び炊き出し実習	7月5日	東近江市立五個荘中学校	102人 (中学1年生)	滋賀県防災支援赤十字奉仕団員4人、五個荘赤十字奉仕団10人、支部職員1人を派遣し、防災に関する指導、炊き出し実習を実施した。



郡市支部主催メンバー・トレーニングセンター	7～8月	各郡市		守山市支部ほか4支部で開催
第4(近畿)ブロック合同青少年赤十字国際交流事業(派遣)	8月16日～22日	マレーシア	18人 (指導者及び支部職員含む)	滋賀県では、滋賀県立国際情報高等学校が国際交流事業推進校として、本事業を主体的に実施し、派遣先(マレーシア)にかかる事前学習及び全校での派遣報告会を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>事前事後研修 第4ブロック各支部選出のメンバー及び指導者合同の事前事後研修計5回(事前4回、事後1回)実施し、赤十字理念の学習及び派遣中のアトラクション等の準備を行った。</li> <li>マレーシア派遣 同国訪問中は、マレーシア赤新月社本社を訪問した他、現地高校生メンバーとのディスカッションやホームステイを実施し、文化交流を行った。</li> </ul>
滋賀県青少年赤十字研究推進委嘱校発表大会	11月1日	守山市立小津小学校	61人	平成29・30年度の滋賀県青少年赤十字研究推進委嘱を受けた同校が2年間の研究成果を発表した。当日は学校関係者及び赤十字奉仕団員が出席した。
防災学習及び炊き出し実習	11月10日	甲賀市立甲南第三小学校	200人	滋賀県防災支援赤十字奉仕団員9人、青年赤十字奉仕団2人、支部職員1人を派遣し、防災に関する指導、炊き出し実習を実施した。
指導部役員会	12月26日	滋賀県支部会議室	6人	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度青少年赤十字主要事業報告</li> <li>平成31年度主要事業計画(案)</li> <li>青少年赤十字メンバー・加盟校応援プロジェクトについて</li> <li>滋賀県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンターについて</li> <li>JRCLが第25号の編集について</li> </ul>
青少年赤十字スター・センター	3月22日～26日	山梨県東照館	2人	全国の高校生メンバーが山梨県の会場に集合し、グループディスカッションやフィールドワークを実施した。

(6) 青少年赤十字メンバー・加盟校応援プロジェクト事業

青少年赤十字加盟校が行う自主的かつ意欲的な実践活動を支援し、その活動成果を広く普及することにより、青少年赤十字活動の一層の振興を図ることをねらいに実施し、下記のとおり助成を行った。

・一般枠

区 分	件 数	助 成 額
幼稚園	1 件	20,000円
小学校	3 件	100,000円
中学校	2 件	70,000円
高等学校	1 件	50,000円
合計	7 件	240,000円

・特別枠

区 分	件 数	助 成 額
小学校	1 件	50,000円
合計	1 件	50,000円

(7) 青少年赤十字機関紙「JRCしが」の発行

滋賀県内の青少年赤十字活動を広く周知するため、JRCしが（No.24）を4月1日に発行し、県内の全小中高等学校等に配布して普及に努めた。

(8) 青少年赤十字加盟案内パンフレット「気づきからはじまる青少年赤十字活動」の発行

未加盟校への啓発及び加盟校・メンバーの増強のため、青少年赤十字に加盟するメリット等をまとめたパンフレットを4月1日に発行し、県内の全小中高等学校等に配布して普及に努めた。

## 10 看護師の教育

赤十字看護師の教育は、122年の永い歴史と伝統を誇る重要な事業の一つであって、災害救護業務の要員を確保するとともに、医療施設の要員充足をはかり、併せて看護師不足に対応すべく優秀な看護師を社会に送り出すことを目的としている。

大津赤十字看護専門学校は大津市小関町に設置され、1学年養成定員を40人とし、本年度は下記のとおり養成した。

平成30年度の養成人員				平成30年度迄の 養成人員
1 年	2 年	3 年	計	
27人	33人	33人	93人	3,250人

## 11 国際活動

### (1) 「NHK海外たすけあい」キャンペーンの実施

平成30年12月1日から25日の間、平成30年度「NHK海外たすけあい」キャンペーンを本社・支部・赤十字病院・血液センターはもとより、NHK各放送局、全国の郵便局、各金融機関等の協力を得て実施した。また、12月1日(土)に滋賀県共同募金会と共催で西武大津店前にて「NHK歳末・海外たすけあい」街頭募金活動を行い、滋賀県支部からは大津市赤十字奉仕団員、大津赤十字看護専門学校学生、支部職員が参加し、協力の呼び掛けを行った。

本キャンペーンの募金額は下記のとおりであり、この資金をもとに、日本赤十字社が世界各地の紛争や自然災害などに苦しむ人々のための国際救援事業や開発協力事業を行った。

#### 実績内訳

区 分	件 数 (件)	金 額 (円)	
滋 賀 県	支部・施設等窓口扱い分	1,132	2,412,448
	本社扱い分	302	2,797,958
	合 計	1,434	5,210,406
全 国	支部・施設等窓口扱い分	41,988	100,513,272
	本社扱い分	34,872	535,582,216
	合 計	76,860	636,095,488

### (2) 第4(近畿)ブロック国際人道法普及セミナーへの参加

平成31年2月19日、日本赤十字社大阪府支部で同セミナーが開催され、受講者として支部職員1人、大津赤十字病院1人、大津赤十字志賀病院1人、長浜赤十字病院1人、滋賀県防災支援赤十字奉仕団1人が参加した。

## 12 赤十字思想の普及

赤十字の理念や赤十字の活動について県民の理解を深め、一層の協力を得るため、5月の運動月間を始め、年間を通じて広報活動を展開した。

### (1) 本社作成の広報資材の配布

名 称	作製目的・主な内容	主な配布(視聴)対象
活動紹介用リーフレット	赤十字活動のPRと会員募集 (7,600部)	地区・分区、各施設ほか
赤十字運動用PRポスター	赤十字活動のPRと会員募集 (2,870部)	地区・分区、各施設ほか
赤十字NEWS	日本赤十字社広報紙 (44,800部)	赤十字会員、赤十字関係者
活動紹介DVD	日本赤十字社活動紹介DVD 「赤十字この一年」	地区・分区、各施設、赤十字 県民大学(大津・米原)ほか

(2) 支部作成の広報資材の配布

名 称	作製目的・主な内容	主な配布（視聴）対象
活動資金募集用チラシ	赤十字活動のPRと会員募集 (525,000部)	一般
赤十字PRパネルB0版	赤十字活動のPRと会員募集	各施設
事業報告書	滋賀県支部の事業実施状況報告	支部役員・評議員、地区・ 分区、各施設
ポケットティッシュ	赤十字活動PRと地域奉仕団員募 集（31,600個）	地区・分区、奉仕団、各施設
赤十字パネル	赤十字活動紹介パネル	奉仕団、地区・分区、各施設ほか

(3) 世界赤十字デー周知キャンペーン

ア 赤十字フラッグの掲揚

- ・期間 5月1日～5月30日
- ・場所 彦根市役所前道路、夢京橋キャッスルロード

イ オリジナルコースター使用協力企業によるPR

- ・協力企業 夢京橋キャッスルロードの飲食店、赤十字施設の飲食店
- ・期間 5月1日～5月30日

(4) 主な広報活動

ア テレビスポットによる広報

びわ湖放送株式会社様のご協力を得て、以下のとおりテレビスポットによる広報を実施した。

- ・期間 5月1日～31日（6月以降も放映）
- ・TV-CM15秒／30秒

イ ラジオスポットによる広報

株式会社エフエム滋賀様のご協力を得て、下記のとおりラジオスポットによる広報を実施した。

- ・期間 5月1日～31日（6月以降も放送）
- ・ラジオCM20秒

ウ JR駅構内でのB1ポスターの掲出

- ・期間 5月1日～31日

エ 近江鉄道、スーパー等でのB2、B3ポスターの掲出

- ・期間 5月1日～31日

オ 懸垂幕の掲出

- ・場所 日本赤十字社滋賀県支部事務所ビル横
- ・内容 人間を救うのは、人間だ。— 赤十字活動資金に協力下さい。—

カ 支部ホームページの更新

不特定多数の方々にPRが図れる広報媒体であることから、当支部をはじめとする日本赤十字社の活動紹介、救急法等の健康・安全講習の案内、青少年赤十字活動の紹介など、更なる赤十字活動の発信に努めた。

(5) 平成30年度防災・減災プロジェクト～私たちは、忘れない。～の実施

本プロジェクトは、東日本大震災から5年を契機に、継続した復興支援と、防災・減災意識の向上を目的に、全国的なプロジェクトとして実施しているもので、平成30年度も、過去の災害の教訓を忘れることなく、将来の災害に対する防災・減災意識の向上をめざし、防災・減災プロジェクト～私たちは、忘れない。～を実施した。

キャンペーンでは、バッジ着用やポスター掲示等、PRにご協力いただける企業・団体を募集したところ、数多くの企業・団体からご賛同をいただいた。

ア 期間：平成31年3月1日～3月31日

イ キャンペーンの内容

① バッジ運動

期間中、以下の企業・団体、日赤職員がバッジを着用した。

○ご賛同いただいた企業・団体 計31

J A滋賀中央会・各連合会・共通役員室、J Aしが女性協議会、西村建設株式会社、甲賀高分子株式会社、米原市役所、滋賀双葉ビル整備株式会社、滋賀トヨペット株式会社、大塚オーミ陶業株式会社、株式会社たねや、株式会社クラブハリエ、東近江市立五個荘中学校、株式会社平和堂、オプテックスグループ株式会社、協同組合平和堂同友店会、豊郷町、社会福祉法人米原市社会福祉協議会、株式会社滋賀銀行、三和産業株式会社、アインズ株式会社、滋賀県厚生農業協同組合連合会、西びわこ農業協同組合、滋賀県農協健康保険組合、滋賀県蒲生町農業協同組合、北びわこ農業協同組合、株式会社滋賀県農協電算センター、株式会社農協観光滋賀支店、滋賀県信用農業協同組合連合会、草津市農業協同組合、滋賀県立八幡高等学校、栗東市農業協同組合、全国農業協同組合連合会滋賀県本部、(順不同)  
(企業・団体に配付したバッジ数 6,806個)

○日赤関係

赤十字奉仕団(県内50団) バッジ配付数 8,000個

② 企業・店舗等での広報協力(ポスター掲示、リーフレットの配付)

企業・団体、赤十字奉仕団へ配付したポスター(B2判) 141枚

企業・団体、赤十字奉仕団へ配付したポスター(B3判) 134枚

企業・団体、赤十字奉仕団へ配付したリーフレット 2,068枚

## 13 有 功 会

日本赤十字社滋賀県支部有功会は、金色有功章を受章され、趣旨に賛同された方々により、昭和48年10月1日、会員58人で発足。平成9年より銀色有功章受章者まで会員範囲を拡大し、会員相互の親睦や健康の保持、赤十字思想の普及と重要業務の進展に協力、人類福祉の増進に寄与することに努めている。

(1) 会員の数(個人・法人)

前年度末会員数	本年度新規会員数	退 会 者 (亡くなられた方を含む)	年度末会員数
377人	26人	19人	384人

(2) 事業内容

ア 有功会総会の開催

平成30年6月28日(木) 午前10時より琵琶湖ホテルにおいて開催  
116人参加

- ・平成29年度有功会事業並びに収支決算報告書
- ・平成30年度有功会事業計画(案)並びに収支予算(案)
- ・役員補充について

イ 特別講演会

平成30年6月28日(木) 同上総会において実施

演題 『比叡山から発信する憶い』

講師 比叡山延暦寺執行 小堀 光實 師

ウ 会員懇親会

平成30年6月28日(木)

総会終了後、同会場にて開催 111人出席

エ 日赤紺綬・有功会会長協議会総会

平成30年10月4日(木)～5日(金)

秋田県秋田市 ホテルメトロポリタン秋田

田附副会長出席

オ 会員親睦旅行

平成30年11月15日(木)～11月16日(金) 22人参加

宿泊先：石川県加賀市 山代温泉 ゆのくに天祥

カ 会員健康診断

施設	2日(1泊)	1日
大津赤十字病院	14人	49人
長浜赤十字病院	4人	13人
計	18人	62人

キ 大津赤十字看護専門学校卒業生に卒業記念品の贈呈

平成30年度大津赤十字看護専門学校卒業生(28人)に卒業記念品〔化粧ポーチ(女性)・目覚まし電波時計(男性)]を贈呈する。

ク 青少年赤十字活動支援

滋賀県支部主催の「青少年赤十字メンバートレーニングセンター」参加メンバーと指導者58人に対し、参加記念品(赤十字マーク付トートバック・フリクション蛍光ペン3色セット)を贈呈した。

ケ 災害救護活動支援

災害時に救護班が携行する非常食124食を寄贈した。

コ 国際活動事業の支援

支援先・支援内容

ネパール赤十字社 学校における水・公衆衛生の促進

バヌアツ赤十字社 学校における災害リスク軽減・学校安全

支援金額 30,000円

サ 法人会員による 防災・減災プロジェクト～私たちは、忘れない。～  
(バッジ着用運動) への協力

協力企業 6社

シ 役員会等の開催

① 有功会親睦旅行選定委員会

平成31年2月27日(水) 7人出席

② 役員会

平成31年3月7日(木) 16人出席

- 平成30年度有功会事業報告並びに収支決算について
- 平成31年度有功会事業計画(案)並びに収支予算(案)について
- 平成31年度有功会親睦旅行について
- その他